

ごみの発生状況(4～6月)

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	単位: kg
4月	可燃					容器包装 プラス チック	不燃			粗大	有害	小電	資源品	総量
	家庭		事業		合計		家庭		合計			BOX 回収		
	市収集	直搬	許可	直搬			市収集	直搬						
平成31年	4,147,370	104,160	2,742,390	173,240	7,167,160	408,960	502,660	81,260	583,920	64,730	7,690	807	1,629,670	9,862,937
令和2年	4,375,110	159,060	2,155,340	179,730	6,869,240	542,890	669,830	101,130	770,960	63,620	9,790	1,260	1,887,920	10,145,680
増減	227,740	54,900	-587,050	6,490	-297,920	133,930	167,170	19,870	187,040	-1,110	2,100	453	258,250	282,743
前年比	105% (※2)	153%	79%	104%	96%	133% (※3)	133%	124%	132%	98%	127%	156%	116%	103%
実質前年比(※1)	99%	-	-	-	-	106%	-	-	-	-	-	-	-	-

5月	可燃					容器包装 プラス チック	不燃			粗大	有害	小電	資源品	総量
	家庭		事業		合計		家庭		合計			BOX 回収		
	市収集	直搬	許可	直搬			市収集	直搬						
令和元年	4,586,880	117,450	2,752,550	243,800	7,700,680	515,360	652,910	75,790	728,700	60,660	8,200	1,408	1,782,220	10,797,228
令和2年	4,766,910	171,900	2,113,690	288,610	7,341,110	465,680	842,390	91,960	934,350	53,900	11,970	1,373	2,078,620	10,887,003
増減	180,030	54,450	-638,860	44,810	-359,570	-49,680	189,480	16,170	205,650	-6,760	3,770	-35	296,400	89,775
増減率	104% (※4)	146%	77%	118%	95%	90% (※5)	129%	121%	128%	89%	146%	98%	117%	101%
実質前年比(※1)	110%		-	-	-	113%	-	-	-	-	-	-	-	-

6月	可燃					容器包装 プラス チック	不燃			粗大	有害	小電	資源品	総量
	家庭		事業		合計		家庭		合計			BOX 回収		
	市収集	直搬	許可	直搬			市収集	直搬						
令和元年	3,961,330	96,530	2,642,540	327,180	7,027,580	398,580	482,340	58,620	540,960	58,830	7,310	859	1,543,640	9,577,759
令和2年	4,690,510	134,480	2,558,410	307,910	7,691,310	420,240	582,310	87,550	669,860	58,910	8,140	1,044	1,589,050	10,438,554
増減	729,180	37,950	-84,130	-19,270	663,730	21,660	99,970	28,930	128,900	80	830	185	45,410	860,795
増減率	118% (※6)	139%	97%	94%	109%	105%	121%	149%	124%	100%	111%	122%	103%	109%
実質前年比(※1)	105%		-	-	-	105%	-	-	-	-	-	-	-	-

(※1)「可燃ごみ」と「容器包装プラスチック類」は、同じ月でも年度によって収集回数が異なるため、1回あたりの収集量に割り返して比較したもの

(※2)今年(令和2年)の月17回収集に対し、前年(令和元年)は16回

(※3)今年(令和2年)の月5回収集に対し、前年(令和元年)は4回

(※4)今年(令和2年)の月17回収集に対し、前年(令和元年)は18回

(※5)今年(令和2年)の月4回収集に対し、前年(令和元年)は5回

(※6)今年(令和2年)の月18回収集に対し、前年(令和元年)は16回

《ごみの排出傾向》

- ・4～6月に家庭から排出される「可燃ごみ」「容器包装プラスチック類」「不燃ごみ」「資源品」等は、前年よりも増加している。
- ・事業系のごみは、4、5月は緊急事態宣言の影響で減少していたが、解除後の6月には平常に戻りつつある。
- ・今後のごみ量は、新型コロナウイルスの影響に伴う新たな生活様式（在宅勤務の増加やテイクアウト・デリバリーの需要拡大）に左右されると推測される。